

令和6年6月13日
財政・変革局市政変革推進室

所管事務調査

「行財政改革のさらなる推進について」

1 市政変革の現在の取組状況について

市政変革会議（X会議）キックオフミーティングについて

・ 当日資料 . . . 資料1～7

・ 議事要旨 . . . 資料8

市政変革会議（X会議）キックオフミーティング

日 時 令和6年6月4日(火) 15:00~16:00

場 所 北九州市役所本庁舎3階 大集会室

次第

- 1 本部長訓示
 - ・ 会議設置の趣旨 ほか
- 2 市政変革の進め方
 - ・ 市政変革とは
 - ・ 変革1年次の成果（令和5年度取組み）
 - ・ 本格始動の方向性、キーワード
 - ・ 令和6年度からの取組み、各取組みの全体像・相互関係
 - ・ 変革の駆動装置
 - i) 局区X方針
 - ii) 経営分析
 - iii) プラチナ市役所プロジェクト
 - iv) X会議
 - v) 有識者の参画
 - vi) 予算編成との連動
 - vii) 年間日程
- 3 X会議、局区X方針、プラチナ市役所プロジェクト
実施概要説明
- 4 その他

配布資料 一覧

- 資料1 配席表
- 資料2 出席者一覧
- 資料3 市政変革の進め方
- 資料4 X会議について
- 資料5 局区X方針について
- 資料6 プラチナ市役所プロジェクトについて

市政変革会議(X会議) キックオフミーティング
場所:本庁舎3階 大集会室

柴田市政変革 パートナー	堀内市政変革 パートナー	山本官民連携 ディレクター	上山顧問	武内市長	稲原副市長	片山副市長	大庭副市長
-----------------	-----------------	------------------	------	------	-------	-------	-------

モニター

事務局

田島教育長
吉村会計室長
柏井危機管理監
中村デジタル政策監
尊田技術監理局長
小林政策局長
三浦総務市民局長
武藤保健福祉局長
小笠原子ども家庭局長
兼尾環境局長
柴田産業経済局長
井上都市ブランド創造局長
上村都市戦略局長
石川都市整備局長
佐溝港湾空港局長

武田財政・変革局長
小石行政委員会事務局長
岩田市議会事務局長
春日公営競技局長
白石交通局長
持山上下水道局長
岸本消防局長
森川戸畑区長
池永八幡西区長
喜洲八幡東区長
奥野若松区長
日々谷小倉南区長
天本小倉北区長
谷延門司区長

事務局

配信席

				} 報道席 傍聴席

出入口

市政変革会議(X会議) キックオフミーティング
出席者一覧

本部長

武内 和久 市長

副本部長

稲原 浩 副市長
大庭 千賀子 副市長
片山 憲一 副市長

本部員

田島 裕美	教育長	佐溝 圭太郎	港湾空港局長
吉村 知泰	会計室長	谷延 正夫	門司区長
柏井 宏之	危機管理監	天本 克己	小倉北区長
中村 彰雄	デジタル政策監	日々谷 健司	小倉南区長
尊田 利文	技術監理局長	奥野 静人	若松区長
小林 亮介	政策局長	喜洲 淳哉	八幡東区長
三浦 隆宏	総務市民局長	池永 紳也	八幡西区長
武田 信一	財政・変革局長	森川 洋一	戸畑区長
武藤 朋美	保健福祉局長	岸本 孝司	消防局長
小笠原 圭子	子ども家庭局長	持山 泰生	上下水道局長
兼尾 明利	環境局長	白石 基	交通局長
柴田 泰平	産業経済局長	春日 伸一	公営競技局長
井上 保之	都市ブランド創造局長	岩田 光正	市議会事務局長
上村 周二	都市戦略局長	小石 富美恵	行政委員会事務局長
石川 達郎	都市整備局長		

顧問(北九州市顧問)

上山 信一 顧問
山本 遼太郎 官民連携ディレクター

市政変革パートナー(北九州市市政変革推進員)

堀内 壮太 市政変革推進員
柴田 翔吾 市政変革推進員

事務局(財政・変革局市政変革推進室)

星之内 正毅 市政変革推進室長
秋永 充晴 市政変革推進担当課長
鍋藤 博一 市政変革推進担当課長

令和6年度からの 市政変革の進め方

市政変革とは

未来のために、
今、ととのえよう。

市政変革の目的

社会経済情勢が変化する中においても、北九州市が都市としての魅力を高め続け、多くの人や企業を惹きつけていく都市として、「一步先の価値観」を体現できる都市であり続けられるよう、市民全体の叡智を結集して、行財政運営を再構築していく。

未来を「創る改革」

市政変革の取組は、もっぱら「削る改革」ではなく、未来を「創る改革」である。

「変革」とは、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指すものである。

そのために、これまで続けられてきた資源配分のあり方を見直し、新たな時代の要請に応えるものとしていく。

背景

人口減少、少子高齢化、低迷する経済成長、老朽化する公共施設、増加傾向が続く歳出と歳入の伸び悩み、新たな行政需要に対応できる組織体制、DX推進

変革1年次の成果(令和5年度取組み)

未来のために、
今、ととのえよう。

骨格となるプランの策定・事務事業総点検

北九州市政変革推進プランの策定

次世代への投資等を行いつつ、行財政運営のあり方を再構築する「市政変革」の取組を進めるにあたり、市政変革の基本原則、見直しの視点、目標値、具体的な取組項目等を定めた計画。

振り返り

・市政変革の趣旨や進め方、次世代投資枠をはじめとした目標などの骨格を明確にすることができた

予算事務事業の棚卸し

各局等において、全ての予算事務事業（約3,000事業（令和5年度））を総点検し、市民ニーズや社会経済情勢の変化等の6つの視点を踏まえた見直しを実施。

振り返り

・予算事務事業単位でKPIを設定でき、一定の統廃合や見直しを行うことができた

変革2年次は、プランに基づき以下の事項を具体化し、「市政変革」を本格始動させていく必要

- ・各局が事業の改廃等を自ら判断できる仕組み
- ・事業や制度の「固まり」での改革案の検討
- ・挑戦に価値を見出す職員意識の醸成
- ・市民への「開かれた議論」

変革1年次の成果(令和5年度取組み)

未来のために、
今、ととのえよう。

予算事務事業の棚卸しの好事例

美術館企画展、美術館管理運営事業（分館）

- 市民の方々の美術に親しむ機会をさらに充実させるため、美術館分館や企画展開催のあり方を見直し、デジタルアーカイブの作成等に注力することでアートへのアクセスの多元化を図った。
- この様な取組みを進めることで、市立美術館本館の更なる利用促進や認知度向上を図ることとしている。

景観資源の保全・活用（小倉都心地区夜間景観）

- 小倉都心地区の夜間景観創出について、負担金拠出を通じた民間支援から、民間主体での取組み継続に移行した。

保健福祉施策推進事業

- 市民に保健福祉行政への理解促進を図る等のため作成してきた保健福祉レポート等について、紙媒体からデジタル化によるペーパーレスに方式を見直した。

本格始動の方向性(変革≠行革)

未来のために、
今、ととのえよう。

各局区、職員一人一人が主役の市政変革の推進

- 各局区の自律的な改革の実行
- 職員一人一人が市政変革の主役であるという自覚
- “働きやすさ”と“働きがい”の実現

変革の見える化

- 予算事務事業の枠を超えた経営的視点での改革案の検討
(市役所の仕事がイメージできる事業や制度の固まりでの分析)
- 市政変革の検討過程や結果の見える化
- 市民との対話

本格始動のキーワード

未来のために、
今、ととのえよう。

市政 **変革**

トランスフォーメーション

Xformation

令和6年度からの取組み(変革の駆動装置)

未来のために、
今、ととのえよう。

各局区による改革案磨き上げの場 **X会議**



局区X方針

各局・区長等が、経営者目線で自律的な改革の方針を定め、組織内外に発信する



経営分析

施策・事業や制度・仕組みのまとめりごとの現状整理や分析、課題の洗い出しなどを通じて改革の方向性を検討



プラチナ市役所プロジェクト

職員のアイデアを生かし、“働きやすさ”と“働きがい”の実現や、変革の風土醸成を図る

様々な職員向け研修や市民への出前講演等を通じた理解醸成

各取組みの全体像・相互関係

未来のために、
今、ととのえよう。

変革の担い手

変革の駆動装置

変革の位置づけ



変革の駆動装置 ①局区X方針

未来のために、
今、ととのえよう。

各局区が主役となり、変革方針を表明

局区長のリーダーシップの下、
変革の方針を策定・公開

〇〇局区X方針

- ・使命
- ・変革課題・目標等
- ・R6取組み



①自己点検

6~7月

- ・局区長のリーダーシップの発揮
- ・新ビジョンを踏まえ、特に変革が必要な課題（変革課題）の洗い出し
- ・幹部職員の参画

②変革課題・目標等の設定 8月

- ・局区X方針の公表
- ・市民への丁寧な発信
- ・局区内職員との意識共有

課題解決に向けた
取組み

③X会議(進捗の公開)3か月ごと

- ・見直しが困難な課題を可視化
- ・データ等を用いて客観的に分析

④達成状況公表

翌9月

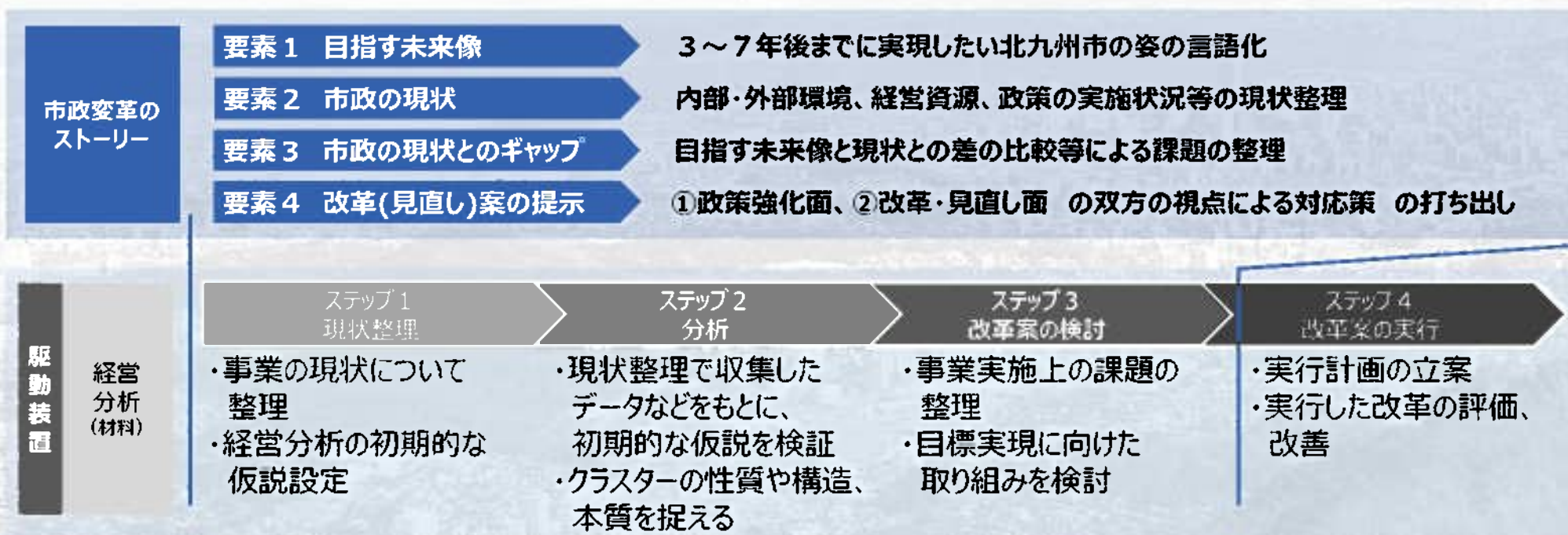
- ・達成状況を公表し、
翌年度以降の取組みに反映

局区長等を中心に自己点検を実施し、変革課題の洗い出しやその課題解決策等を
意思表示(公表)することで、変革の推進力を高めつつ、局区の経営意識の向上を図る

変革の駆動装置 ②経営分析

未来のために、
今、ととのえよう。

経営の視点から事業・制度を固まりで分析、あり方を検討



一定の事業や制度の固まりごとに、現状を可視化し、強みや課題についてデータ等を用いて客観的に把握することで、本質（事業のあり方等）を捉えた見直しや改善案を検討

経営分析の対象(全57クラスター)

未来のために、
今、ととのえよう。

		考え方	事業クラスター
施策・事業グループ ※サービスモデル改革	オペレーション系施策	他自治体・特以民間企業との比較分析などにより、効率化や事業形態の見直し等に重点を置いた改革	1.8 地域医療施策、フ1 食肉センター、2.7 ごみ処理事業、3.2 中央卸売市場、3.3 市営住宅事業、4.3 上下水道事業、4.4 市営バス事業、4.5 公営競技事業、8 公立大学法人北九州市立大学
	市独自施策	効率的性の観点だけでなく、市の持強・強み・弱みやビジョンとの関係性、戦略の明確化等に留意して行う改革	1 戦略的広報、2 定住・移住施策、3 SDGs関連事業、7 国際関係施策、10 地域振興事業、5 安全・安心なまちづくり、9 女性活躍・男女共同参画施策、11 生涯学習事業、14 地域福祉施策、12 スポーツ振興事業、13 文化振興施策、15 高齢者福祉施策、23 子育て支援事業、24 児童虐待・いじめ対策等施策、37 学校給食事業、4 防災・災害対策、25 青少年関連事業、26 環境施策、34 公営事業、6 広聴・相談事業、20 健康づくり・介護予防事業、42 港湾施設マネジメントの推進、28 雇用促進及び地元企業の人材確保施策、29 スタートアップ×地域課題、30 観光施策、31 空港利用促進事業、35 消防体制の整備事業、36 火災予防・啓発事業
	国制度関連施策	全般的制度の下でサービス提供を向上させるとともに、独自政策や制度改正の可能性に留意して行う改革	22 保育所・幼稚園、38 小・中・特別支援学校、17 障害者福祉施策、16 介護保険、介護事業（特別会計）、19 国民健康保険事業（特別会計）
横断制度グループ ※フレーム改革	「施策・事業グループ」における各改革を後押しするための、全庁的なフレームワークや方向性を定める改革	46 外郭団体等の見直し、47 補助金・負担金の見直し、48 使用料・手数料の見直し、49 歳入確保の取組、51 指定管理者制度の見直し、39 公共投資、40 公共施設マネジメント実行計画の見直し、41 公共施設マネジメント基本計画（社会インフラ版）の見直し	
組織強化グループ ※ワークスタイル改革	「職員」や「部署」のレベルから、職員の意識や行動、仕事の仕方、人材育成のあり方など、市役所の「しごと」を刷新することにより、業務改善、働き方改革、気風改革に結びつき、市役所の生産性と競争力のさらなる向上、組織の活性化を目指す改革	50 契約改革（契約事務の見直し）、52 業務改革による効率的な市役所づくり、53 市職員の人事施策、54 DXの推進による窓口改革（スマラく区役所）、55 DX人材育成、56 オフィス改革プロジェクト、57 BPR推進	

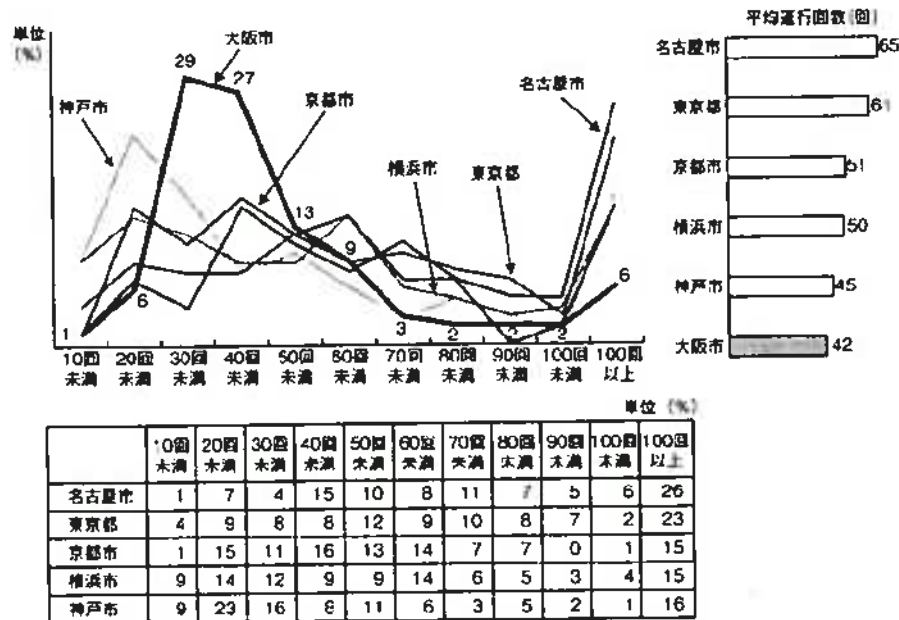
○ 不断の事業見直しを行う必要性を踏まえ、令和6年度に事業クラスターの該当がない局室においても、自己点検を実施

経営分析の事例(大阪市)

未来のために、
今、ととのえよう。

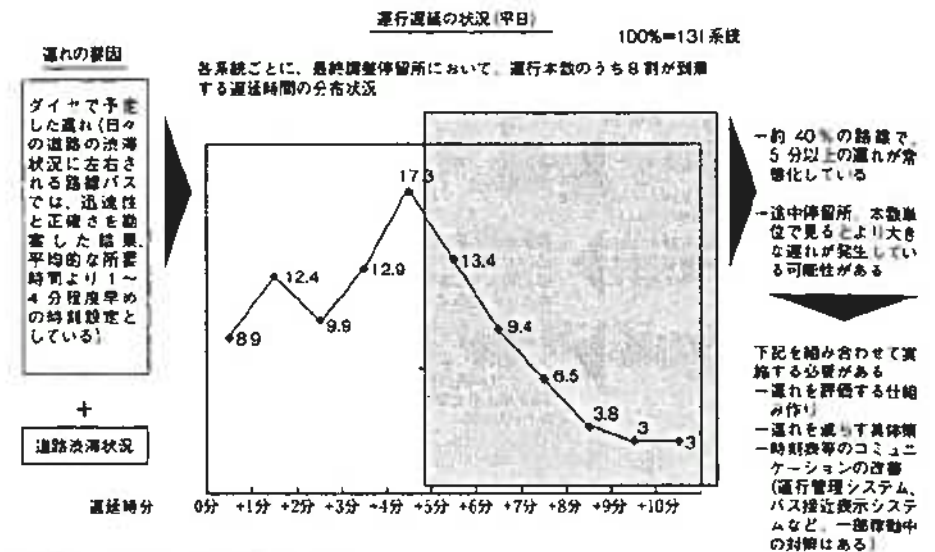
市営バス事業の経営分析

図表 2-2-23 系統別の本数分布 (他都市との比較)



資料：大阪市交通局自動車部運輸課調査

図表 2-2-24 遅れの実態 (2004年4月1日～2005年5月31日、単位：%)



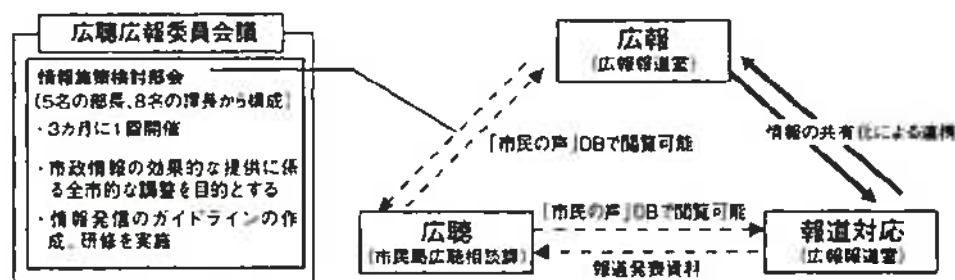
資料：大阪市交通局自動車部運輸課調査

経営分析の事例(大阪市)

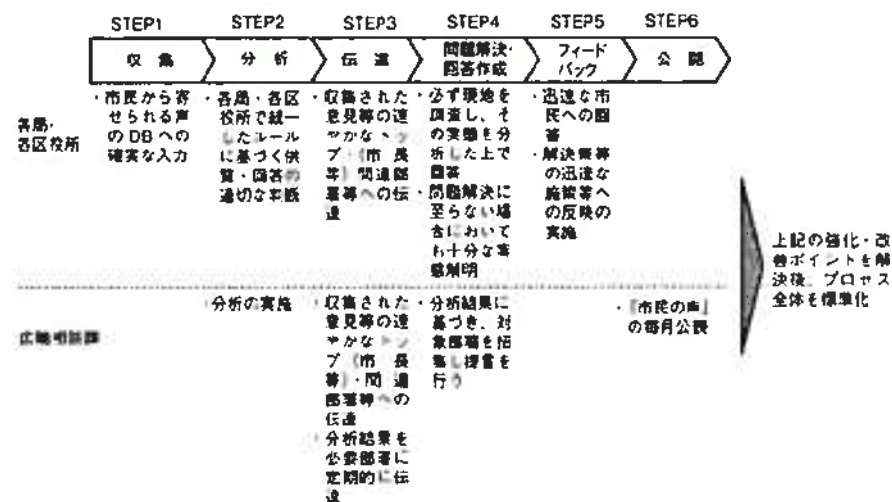
未来のために、
今、ととのえよう。

広聴、広報・報道対応の経営分析

図表 2-5-10 広聴、広報・報道対応の連携（現状）



図表 2-5-11 「市民の声」の取り扱いの強化・改善ポイント

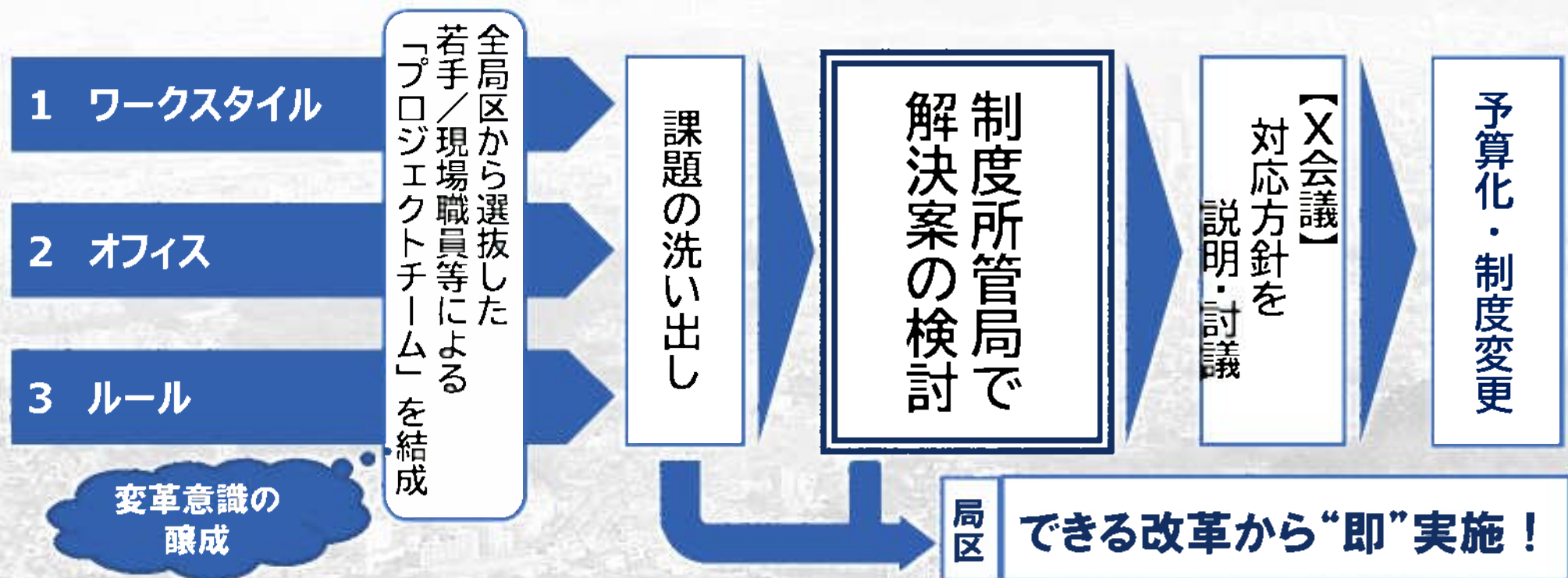


出典) 上山信一+大阪市役所(大阪市市政改革本部) 行政経営分析-大阪市の挑戦- 第2号、時事通信社、2018、334p.p.146

変革の駆動装置 ③プラチナ市役所プロジェクト

未来のために、
今、ととのえよう。

職員発信の改革アイデアを後押し、変革の風土を醸成



“働きやすさ”と“働きがい”の両方を実現することにより、市役所全体の労働生産性やエンゲージメントの向上を図る

変革の駆動装置 ④ X会議

未来のために、
今、ととのえよう。

各局区による改革案の磨き上げの場



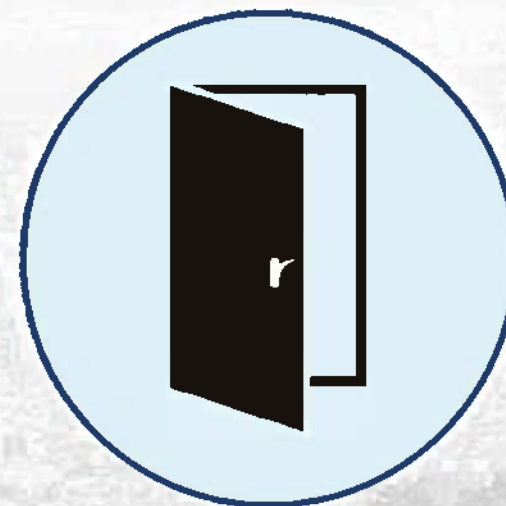
変革の本質に迫る テーマ設定

改革案の磨き上げに繋がる
報告・議論テーマを設定



各局区が主役の議論

各局区の主体的な
改革案の報告・討議



見える化の徹底

公開会議の開催、
資料・会議議事録の公表

変革の駆動装置 ④ X会議

未来のために、
今、ととのえよう。

市政変革推進会議との関係

北九州市政変革推進会議

開催目的：市政変革の推進に関する事項について、広く有識者から意見を聴取するために開催
構成員：杉井雅人氏（座長：北九州市立大学学長）ほか9名（令和5年度）
会議の位置づけ：市政運営上の会合

北九州市政変革実行本部

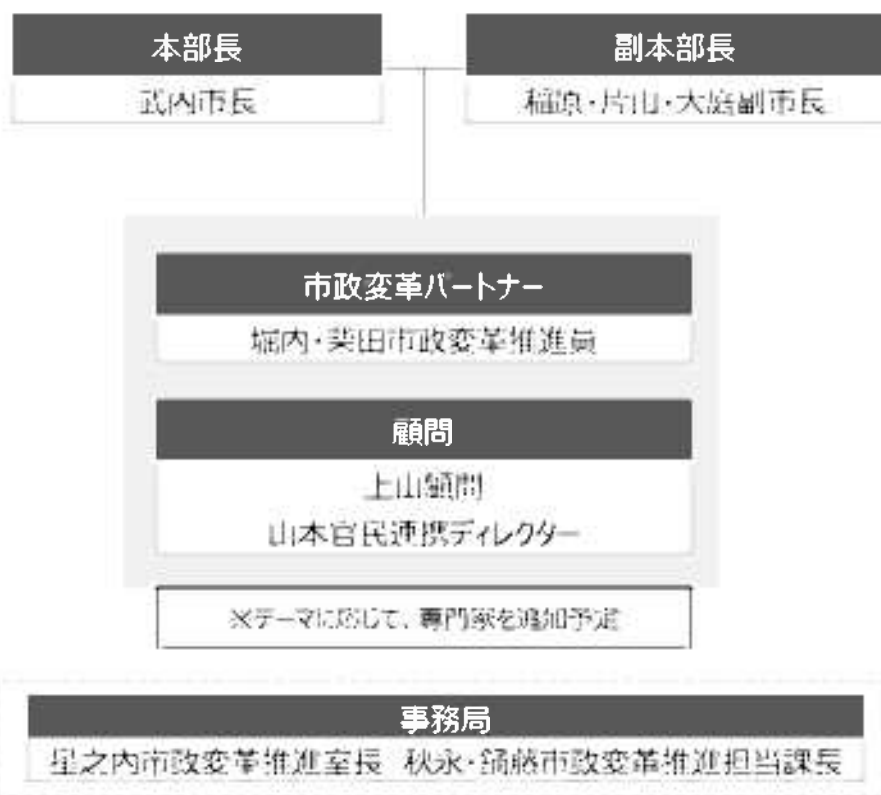
設置目的：市役所内部における市政変革の役割分担を明確にし、市政変革の着実な実行と意思決定プロセスの明確化を図ることを目的に設置
構成員：（本部長）市長、（副本部長）副市長、（顧問）上山顧問、山本官民連携ディレクター
（本部長）教育長、局・室・区・行政委員会等事務局長、（市政変革パートナー）市政変革推進員
所掌事務：市政変革に関する重要な施策の推進及び総合調整
市政変革の取組等の進捗管理に関すること
本部会議：
全体会議：本部長以下全ての本部員が参加し、市政変革の方針等を協議・決定する場合などに開催

市政変革会議（通称：X会議）：本部長、副本部長、顧問のほか、本部員が参加し、特定クラスターの分析・改革案や局区X方針、プラチナ市役所プロジェクトなどを協議するために開催

ワーキンググループ：事業クラスターごとに経営分析を実施するため関連部署で構成

北九州市政変革実行本部

未来のために、
今、ととのえよう。



市政変革における主役

本部員	
田島教育長	佐溝港湾空港局長
吉村会計室長	谷延門司区長
相井危機管理監	天本小倉北区長
中村デジタル政策監	日々谷小倉南区長
尊田技術監理局長	奥野若松区長
小林政策局長	宮廻八幡束区長
三浦総務市民局長	池永八幡西区長
武田財政・変革局長	森川戸畑区長
武藤保健福祉局長	岸本消防局長
小笠原子ども家庭局長	持山上下水道局長
兼尾環境局長	白石交通局長
柴田産業経済局長	春日公園競技局長
井上都市ブランド創造局長	岩田市議会事務局長
上村都市戦略局長	小石行政委員会事務局長
石川都市整備局長	

→北九州市政変革推進会議への報告等は適宜実施

変革の駆動装置 ⑤有識者の参画

未来のために、
今、ととのえよう。

今後、各界の英知が変革を支援

- 市政変革の検討を深めるため、その過程に自治体の改革事例や経営分析に知見のある人材等が市顧問・参与として参画
- 行財政改革等に関する幅広い知見や経営的な視点から助言を行う
- X会議には顧問・参与の出席のほか、必要に応じて、個別テーマの専門家を招聘

うえやま しんいち
上山 信一 氏



1980年 京都大学法学部卒業
1984年 プリンストン大学大学院修了
1980年 国土交通省(旧運輸省)入省
1992年 マッキンゼー日本支社パートナー就任
2000年 米ジョージタウン大学研究教授
2007年 慶應義塾大学総合政策学部教授
2023年 慶應義塾大学名誉教授(現職)

【主な活動】

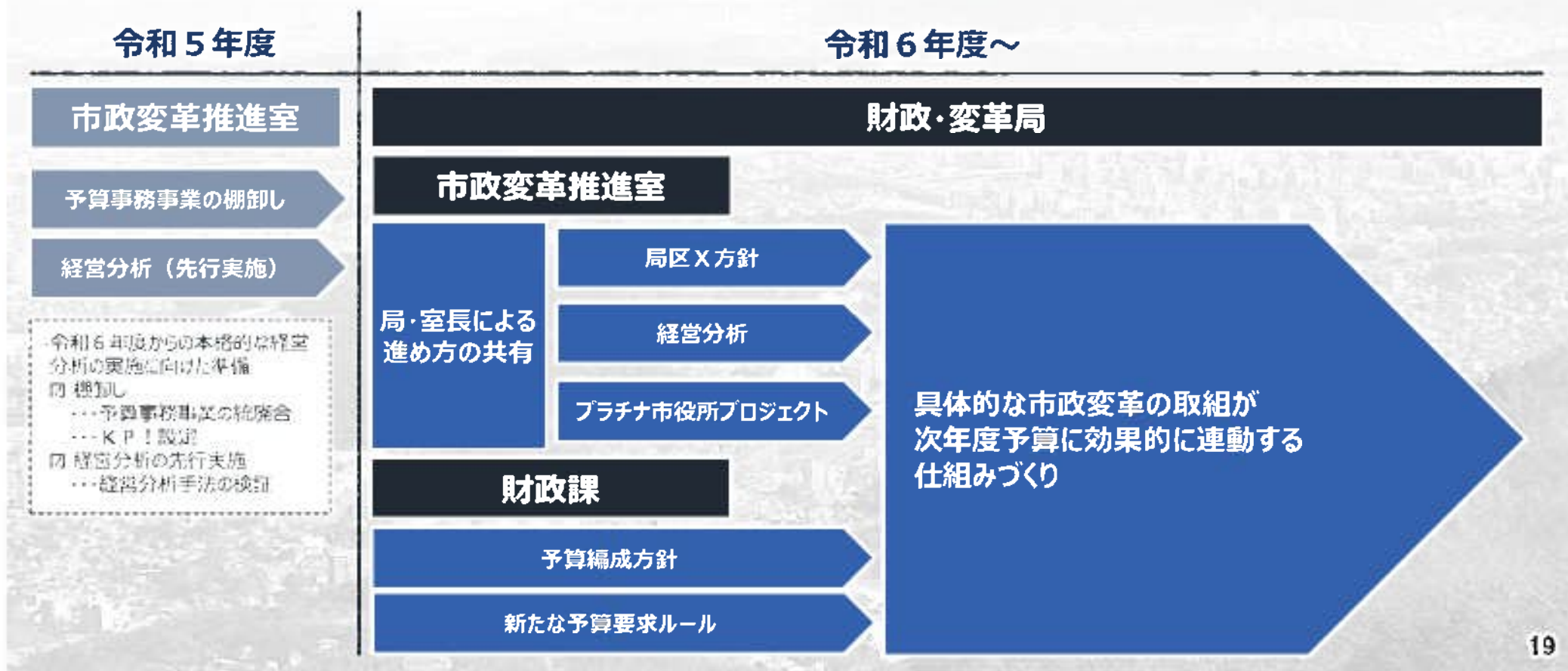
東京都顧問、大阪府・大阪市特別顧問、愛知県政策顧問、新潟市都市政策研究所長、堺市戦略アドバイザー、国土交通省政策評価会座長等を歴任。
また愛知県文化振興事業団理事、日本博物館協会評議員、株式会社平和堂、株式会社スターフライヤーの社外取締役、大学院大学至善館特命教授等を兼務。

※今後も複数名、選任を予定

変革の駆動装置 ⑥ 予算編成との連動

未来のために、
今、ととのえよう。

財政・変革局において市政変革・予算編成を一体的に実施



変革の駆動装置(年間日程)

未来のために、
今、ととのえよう。

令和6年度スケジュール

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月以降
X会議		キックオフ MTG 6/4	第1回 7月下旬	第2回 8月下旬		第3回 10月上旬	第4回 11月上旬	第5回 12月下旬
局区X方針 各局室区の自主的な取組			各局自己点検 変革課題の 洗い出し	課題及び対応案 公表		進捗状況を随時公表		
経営分析	施策・事業 グループ オペレーション系 施策 市独自施策 国制度関連施策 横断制度グループ 組織強化グループ	経営分析着手 担当部局と市政 変革室のMTG など	経営分析の経過報告 第1回X会議(7月下旬)では ・保育所・幼稚園 ・子育て支援事業 ・公園事業 をテーマに			経営分析を踏まえた改革の 方向性を報告 (R7予算に関連するもの等) など	経営分析を 踏まえた改革の 方向性を報告 (制度関係等) 経営分析の 最終報告 など	
	プラチナ市役所 プロジェクト	PTの人選・結成	PTによる 課題等の洗い出し	制度所管局で解決案の 検討・決定		関係局長による 対応方針の表明		

議論のテーマに上がらないものも検討の経過・
結果は全て資料で提出・報告

X会議について

X会議について

未来のために、
今、ととのえよう。

開催趣旨

市政変革を進めるにあたり、
具体的な変革の取組を進める各局室が主体的に議論を行う
検討会議を公開で開催し、
活発な議論のもと変革案の磨き上げを行うとともに、
検討過程の透明性を担保することで
市民理解の醸成を図る。

また、自治体における経営改革や検討テーマ等に
知見のある有識者の参画を得ながら進めることで、
市政変革の実効性を確保する。

X会議について

未来のために、
今、ととのえよう。

X会議の進め方

(1) 公開会議の開催と対象テーマ

- 市政変革の検討過程の透明性を担保するため、会議は原則として全て市民・報道機関等に公開で開催（傍聴・取材可、オンラインで同時配信）
- 会議の対象テーマは、「局区X方針」、「経営分析」、「プラチナ市役所プロジェクト」等の中から内容の重要性や進捗状況等を踏まえ、随時決定
- 対象テーマの中から数件（3件/回程度）選定し会議で議論を行うほか、議論の対象テーマにあがらなかったものも報告のみ実施（資料は全て公表）
- 会議で使用する資料のほか、議事録を後日、市のホームページで公表

X会議について

未来のために、
今、ととのえよう。

X会議の進め方

(2) 今後のスケジュール

- 7月以降、原則として月1回開催
- 7月に「経営分析」の経過報告、
8月に「局区X方針」の公表、
10月は「プラチナ市役所プロジェクト」の制度所管局による方針表明や「経営分析」の結果を踏まえた改革の方向性等を報告
- 7月の第1回X会議のテーマは、
「子育て支援事業」、「保育所・幼稚園」、「公園事業」

1 実施目的

局長級職員(各局・区長等)がリーダーシップを発揮しながら、幹部職員を巻き込んで自己点検を実施し、変革課題の洗い出しを行う。その課題解決に向けた方向性等を意思表示することによる局長級職員の経営意識の向上や、局区内職員への変革の意識づけを図る。

あわせて、取組みの過程を対外的にも公表することとし、市政変革の取組みの推進力を高めつつ、市民への理解浸透を図る。

2 対象職員

局長級職員(理事除く) 29名

3 年間スケジュール

6月4日 キックオフ会議において、局区X方針の実施概要の公表

8月下旬 第2回X会議において、局区X方針発表

※以降、3か月ごとに進捗状況を公表

(翌年度以降)

4～5月頃 当年度の局区X方針公表

9月 前年度の達成状況に係る公表

局区X方針 実施概要

4 局区X方針の内容とその要旨 ※各項目の内容は、経営分析の進捗等を踏まえ、適宜見直し

(1)組織の使命・役割

基本構想・基本計画や変革プラン等を踏まえ、組織としてどのような使命や役割を担うべきと考えているか、局区の自己点検の結果を踏まえた各局区長自身の思いを述べる。

また、その使命を担い政策を遂行した結果、今後どのような目標を達成していくのか、市民に向け総論を述べる。

(2)現状認識と主な変革課題

新ビジョンの実現等を念頭に、社会経済情勢や施策二ーズの動向、これまでの改革の取り組み、施策・事業の成果など、局区の経営課題の背景となる現状と変革課題を整理する。

具体的には、局区の経営者として、この数年間で特に変革していかなければならない事項や市民の関心の高い事項を中心に、1～3点程度、課題を挙げる。

(3)課題への対応

変革課題を達成していくために、3～7年後を見据え、どのように取り組むのか、以下の3点に沿って説明する。

- ① 目指す方向性
- ② 実現に向けて、今年度やること
- ③ ②によって何をどのような状態にするのか

令和6年度 ○○局X方針

局長
顔写真

～○○のために、今、○○しよう！（キャッチフレーズ）～

記入例

○○局長
北九 太郎

組織の使命・役割

新たに策定した基本構想や市政変革推進プランに基づき、……を進めるとともに、次世代への……を着実に行いつつ、……を図る。

特に、今年度は、……を踏まえ、……についての職員の理解浸透を図り、限られたリソースを……等の必要な施策に重点配分し、……に努める。

現状認識と変革課題

○○局を取り巻く現状は、……や……など、構造的・複合的課題を抱える一方で、北九州市が持つ……といったポテンシャルを最大限に発揮するため、……を徹底的に見直し、中長期的には……等を図っていかなければならない。（現状認識）

このため、令和○年度までに、……を実施するとともに、令和6年度中に具体的な……の検討を行い、①……②……③……等について重点的に見直しを行っていく必要がある。（変革課題）

変革課題① ○○のあり方

該当クラスター

新ビジョンを
踏まえた
目指す方向性

戦略及び達成目標

実現に向けて、
今年度やること

令和6年度の具体的取組み

取組みによって
何をどのような
状態にするのか

得られる成果・効果

達成状況

令和6年度実績と達成状況

プラチナ企業・・・働きやすさと働きがいが高いレベルで実現する企業

1 実施目的

- ・プロジェクトへの職員の参画による成果の実感と変革意識の醸成
- ・チャレンジ精神の応援による“働きやすさ”と、成長の実感による“働きがい”の実現
- ・市役所全体の労働生産性の向上

2 検討テーマ

「ワークスタイル」、「オフィス」、「ルール」の3つのテーマについて検討

3 実施方法 ～プロジェクトチームが市役所の身近な課題を洗い出し、制度所管局において解決策を検討～

- ①各テーマごとに局区からの推薦を受けた若手／現場職員等により、プロジェクトチーム(以下、「PT」という。)を結成する(1PT 10名程度)。
- ②PTは、テーマごとの課題や、解決に向けたアイデアの洗い出しを行う。
- ③PTの発案をもとに、局区は、できる改革から速やかに実施する。
予算化や制度変更を伴う課題は、制度所管局が解決に向け十分に検討を重ねる。
- ④制度所管局は、検討の結果(対応方針)をX会議で説明する。

ワークスタイル

職員の連帯感・協力関係を高めながら、働きがいのあるキャリア形成や働きやすい人事制度として、何が求められているか。

〈職員の声(課題)の例〉

- ・コロナによって弱まった職員同士のつながりを強めたい!
- ・自分の抱えている思いを、仕事で実現していきたい!
- ・仕事を通じて自分自身の成長(キャリアアップ)の実感を持ちたい!

オフィス

職員が自らの職場環境に愛着を持ちながら、快適に仕事を進めるために、何を变えていくか。

〈職員の声(課題)の例〉

- ・近年のトレンドを踏まえたOA化等の職場環境(什器等)を整えてほしい!
- ・建物自体が古くても、照明やトイレなどもっと快適な執務環境にしてほしい!
- ・他の部署のように私の部署もフリーアドレス化したい!

ルール

効率的な業務を行うために、どのような制度変更や事務の集約・共通化等が行えるか。

〈職員の声(課題)の例〉

- ・支払い・契約事務等をもっと効率的に行いたい!
- ・組織としての意思決定を迅速化したい!
- ・マニュアルの該当箇所を素早く見つけたい!
- ・他課と共通の重複事務をまとめたい!

エンゲージメントの向上! チャレンジ精神と成長の実感の後押し!

プラチナ市役所の実現!

プラチナ市役所プロジェクト スケジュール

6月4日

6月

7月

8～9月

10月

11月

【X会議】
実施概要の公表

プロジェクトチームの人選、結成

プロジェクトチームによる課題等の洗い出し

制度所管局で
解決案の検討

【X会議】
制度所管局が
対応方針を
説明・討議

必要に応じ予算要求
(別枠等を検討)

予算化・制度変更

できる改革から“即”実施

働きやすさと働きがいの実現!

議 事 要 旨

- 1 会 議 名 市政変革会議(X会議)キックオフミーティング
- 2 開 催 日 時 令和6年6月4日(火)15時00分～16時00分
- 3 開 催 場 所 北九州市役所3階 大集会室
- 4 出席者氏名 出席者一覧のとおり
- 5 会 議 概 要 市政変革会議(X会議)キックオフミーティングの開催
・本部長訓示(開示設置の趣旨)
・市政変革の進め方
・X会議
・局区X方針
・プラチナ市役所プロジェクト

6 会議経過(発言要旨)

■本部長訓示

(武内市長)

市政改革は、「削る改革」ではなく、「創る改革」であり、資源の使い方を考えて実行することが市政変革の第一歩である。

市民に変革の意味を体感してもらいながら、力に変えて変革を進めていく。

X会議はプロセスをできる限り見える化しようということ。市民から共感を得ながら、変革の取組を進めたい。

行政だけでは力が足りない部分については、市民の皆様や有識者からの意見もいただきながら、民間の力、地域の力、市民の力を生かしていこう。

皆の知恵を出し合い、新しい時代の北九州市づくりを行うため、積極的な議論を期待する。

■市政変革の進め方 ・ 武田財政・変革局長から資料(市政変革の進め方)を説明

(武田財政・変革局長)

X会議を通じた各局区での市政変革の取組は市議会にも所管の常任委員会などを通じて、適宜、丁寧に説明、報告いただきたい。X会議の内容自体は資料も議事録も公表するが、市議会へのより丁寧な説明、報告をよろしくお願ひしたい。

7月下旬の第1回目のX会議では、テーマとして子育て支援事業、それから保育所・幼稚園、

それから公園事業を予定。いずれも市民が身近に感じる関心の高いサービスである。

(小笠原子ども家庭局長)

子ども家庭局は比較的新しい局だが、子育て支援の分野は長い歴史を持っている。どうやって時代に合う形に変えていくのか、また、少し先を見据えた形に変えていくのかというところにいろいろな課題を感じている。

(上村都市戦略局長)

今回のテーマの公園事業では、我々も色々な課題があると認識している。具体的には、リノベーションや集約再編によって公園の利用価値を向上させていくように、どのように実現させていくかという課題がある。ニーズに合ったような形を考えていけないといけないと思うので、分析をしながら、課題解決につなげていきたい。

(石川都市整備局長)

公園の整備については、市民や企業の方に理解してもらえるような仕組みづくりが必要だと考えている。

必要なインフラについてもX会議等で議論させてほしいと思っている。

■X会議・局区X方針・プラチナ市役所プロジェクト

- ・ 事務局から資料(X会議について、局区X方針について、プラチナ市役所プロジェクトについて)を説明

■その他

(上山顧問)

一番大事なのは、首長が方向を示すこと。また、現場で実際に事業を実施している各局が仕事のやり方を自分で変えていくことが大事。

本部員から質問はないか。事務局は宿題をいただいた方がいいかもしれない。

(柴田産業経済局長)

市民とのコミュニケーション、対話が非常に重要だと思う。

予算の模様替えの話は、事業によってケースバイケースだが、対話のタイミングを考慮した方が良いのではないかと。また、市民との対話のガイドラインのようなものがあると良い。

(武田財政・変革局長)

行政として物事を決めていくということは、当然、このX会議とは違う場面で決めていくこともある。

X会議は、こうやると決めるというよりは、やらなければいけない課題というのを出していく場である。そういう理解をしていただきたい。

対話のガイドラインについては、各局の意見を伺いながら、三役とも協議したい。

(事務局)

補足すると、年間の大まかな流れとして、10月から11月にかけて、経営分析を踏まえた改革の方向性、R7予算に関連するもの等を報告することとしている。

この事業はこういう方向でということ、報告資料に書いていただき、この辺りは行政として課題認識を持っているということが伺える経営分析になればと考えている。

ただ、経営分析を踏まえて、市としてどう方針決めするかは、別途、適切な時期に行うということ考えている。

(上山顧問)

年度をかけてじっくり練り上げて、翌年度実施という、役所によくあるパターンを全否定するのが、このX会議の一番大事なところだと思う。朝令暮改でも構わない。そのスピード感と、朝令暮改感にぜひ、慣れることが、すごく大事だ。

(武内市長)

できる変革の取組だけをX会議の場に出すということではなくて、もっと長期的に腰を据えてやらなきゃいけないものも俎上に載せてほしい。予算や事業を変えずに、変えられるという短期の取組も、大切な変革だと思う。改革案検討の際には、窓口の方など、第一線に近い方の感度がより高いかもしれない。どんどん意見を出してほしい。

市民にとって喜びを感じられる、実感性のある変革案をぜひ、これから一緒に考えていきたい。

8 問い合わせ先 財政・変革局 市政変革推進室
電話番号 093-582-3170